



先行研究・参考資料となる文献等は様々な形で流通しています。代表的なものを簡単に紹介します。

文献はどんなふうに流通している???

雑誌

学協会や病院、出版社などが発行する定期刊行物です。(週刊や月刊、季刊、年刊など) 扱う分野の違いだけでなく、投稿論文がメインの雑誌、特集や解説記事がメインの雑誌など、雑誌ごとのテイストにも違いがあります。また、投稿規程・編集方針により、査読の有無なども異なります。そして提供媒体の違いにより、大きく以下の2つに分けられますが、両方の媒体を併用して発行されている雑誌もあります。



冊子体(紙媒体)

定期購読や書店での購入などにより入手できます。

PDFなどの電子媒体

科学技術振興機構が運営する「J-STAGE」のほか、民間企業が運営する有料の電子ジャーナルサイトが代表的なプラットフォームです。このほか、学協会や研究所のウェブサイトで独自に公開されている場合もあります。(学協会の会員のみ閲覧可の雑誌もあります。)



書籍

学協会、大学や研究所、病院、商業出版社などで広く刊行されています。教科書や副教材なども書籍に含まれます。改訂・改版が行われる場合があるため注意が必要です。なお、近年は電子書籍も増えており、各種電子書籍サイトで購入・閲覧することができます。



その他

プレプリント

研究成果を社会に早く共有するため、査読前の論文原稿が専用のプラットフォーム(プレプリントサーバ)で公開されたもので、誰でも無料で読むことができます。プレプリントサーバのうち、医学等に関わる代表的なものとしては「medRxiv」や「bioRxiv」などがあります。また、日本で運用されているサーバでは「Jxiv」があります。



ウェブ記事 etc.

企業や団体が運営する情報ポータルサイトやニュースサイトなど、様々なサイトで掲載される記事です。雑誌や書籍に比べて速報性に優れており閲覧もしやすいのがメリットです。一方、ウェブ上にはブログやSNSなどを中心に、真偽不明のものや信頼性が低い情報も多く存在しているため玉石混交といえます。



サービスの特徴を理解して

使いこなそう

それぞれのサービスで、「できること・できないこと」「得意なこと・苦手なこと」などが異なります。(同じ「二次資料データベース」であっても、検索機能やデータの構成、収録範囲など、異なる点も様々です。) 汎用的な生成AIツールも含め各サービスの特徴を知り、上手く使い分けてみましょう。

また、検索で困ったときには、図書館司書や病院図書室の担当者などに相談してみるほか、各検索サービスのHELPページを見てみましょう。基本的な操作方法から細かな機能まで詳細な案内がされており、さらにサービスのアップデートの都度HELPページは更新されるため、最新の情報を入手できます。

医中誌WebのHELPページは以下URLです。(法人契約版)

<https://help.jamas.or.jp/houjin/>



医中誌 Web のご契約について

医中誌Webは、法人契約版と個人契約版の2種類を提供しています。提供しているデータや機能は基本的に同じです。

法人契約版

施設単位の年間契約です。施設の区分などにより料金が異なります。ご契約等のお手続きは取扱代理店を通じて行います。

個人契約版(医中誌 パーソナルWeb)

契約者本人のみの利用に限定する個人単位での契約です。決済方法はクレジットカードです。

料金など詳細は医学中央雑誌刊行会のウェブサイトをご覧ください。



特定非営利活動法人

医学中央雑誌刊行会

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東2-5-18

<https://www.jamas.or.jp/>

E-mail: info@jamas.or.jp

学術情報の網羅的な検索のために

臨床・研究・学習で 文献検索

を行う時に知っておきたいポイント

文献の検索とは

研究の現在地を把握すること

研 究活動をする際、先行研究を調べることは非常に重要です。同様のテーマの研究が存在していたか、存在していた場合はどのような問題点や課題が指摘され、解決に向けてどのような案が提示されたか、結果はどうだったか、今後どのような課題を解決する必要があるのかなど、テーマの現在地を把握することが自身の研究活動の本格的なスタート地点となります。

また、研究活動以外に臨床現場での日々の情報収集も非常に重要です。

学 問分野によって調査対象となるメディアは様々ですが、医学・歯学・薬学・看護学・公衆衛生学、その他の関連分野においては、専門雑誌に掲載されている文献や学会発表、書籍等が中心となります。それらの文献等を網羅的に調べることが、しっかりとした先行研究調査・資料収集に繋がります。

NPO 医学中央雑誌刊行会

<https://www.jamas.or.jp/>

汎用的な生成AIツールでの文献検索

生成AIの登場により、文献検索の場面においてもAIツールの利用が広がってきました。質問や条件を入力すれば合致する文献をすぐに提示してくれるので非常に便利です。ただし、汎用的な生成AIツールを利用する際にはメリットと注意点をそれぞれ知ったうえで利用しましょう。いくつかのツールで共通する代表的な機能を基にご案内します。(2025年10月現在)



メリット

検索手順が簡単

質問文の入力のみで簡単に検索できます。対話形式で質問や要望を追加するなど、気軽な相談のようなイメージです。また、臨床上の疑問をそのまま質問することもでき、回答だけでなくその根拠として参照した文献も提示されます。

要約の作成や関連文献の提案も行ってくれる

文献内容の要約のほか、関連する文献や、追加する質問文の候補なども提示してくれるので、効率的に参考資料を見つけられます。

注意点

ウェブ公開されている文献に限定される

汎用的な生成AIツールで検索できる文献は、ウェブ上で公開されているものに限られ、紙媒体のみで流通している文献は基本的には含まれません。

検索ロジックが確認できない(記録されない)

論文執筆などの場合、どのような検索ロジックでヒットした文献であるか記録しておくことも重要です。AIツールの場合、入力された文章を基にどんなロジックで検索が実行されたかが不透明です。

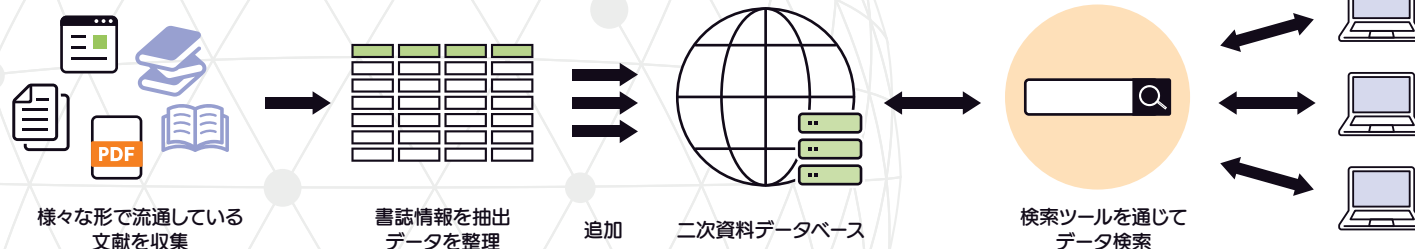


先行研究調査では「漏れの無い検索」が重要

読みたい文献を見つけることももちろん大切ですが、先行研究調査においては「漏れの無い検索」が特に重視されます。つまり、ウェブ公開されていない文献も含め、幅広く様々な文献を対象に「網羅的」かつ「検索内容が明確」に行われる必要があります。もし先行研究が見つからなかった場合も、存在しないことを証明するのは非常に難しいですが、「どの検索サービスで、いつ、どんな内容で検索してヒットしなかった」ということを示すことが大切です。

広く網羅的な文献検索をするときは二次資料データベースも利用しよう!

先行研究調査は漏れなく網羅的に行われる必要がありますが、現状は世界中の文献全てをウェブ上で検索し、アクセス・閲覧するのは難しいです。そのようなとき役に立つのが「二次資料データベース」です。文献の書誌情報(タイトルや著者名、掲載雑誌名など)を集めたデータベースで、文献自体の提供形式を問わず、「世の中でどのような文献が発表されたか」を広く調べることができます。これを使って網羅的に検索すれば、あとは必要な本文を電子ジャーナルや冊子体などで入手するという流れで効率的に進められます。(各サービスの性質を知り使い分けることがとても重要です。)



医学・歯学・薬学・看護学・公衆衛生学等の文献を網羅的に検索するなら「医中誌Web」

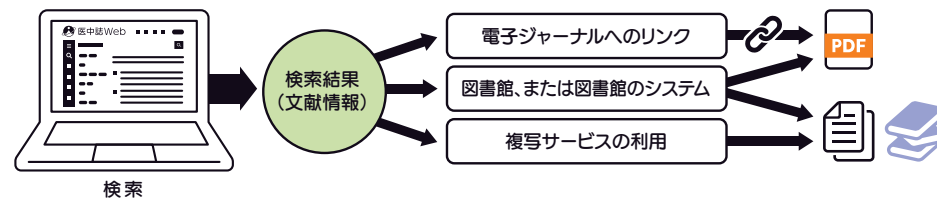
医学系分野の二次資料データベースとして「医中誌Web」があります。日本国内で発行された医学・歯学・薬学・看護学・公衆衛生学および関連分野の雑誌が収録対象です。これらの分野の国内文献を検索する際の代表的なツールとして、多くの大学や病院、製薬企業などで日々利用されています。

検索式・履歴が表示される

検索の都度、「検索語がどのような検索式に展開され、何件ヒットしたか」が、履歴として表示されます。これにより検索内容・検索意図を明確に記録することができます。

内容に沿ったキーワードがあるので検索精度が高い

文献の書誌データごとに、本文の内容に沿ったキーワード情報を付与しています。これにより検索の網羅性と適合性が高まります。



既定の形式に整理されたデータを検索できる

二次資料データベースの作成では、冊子体や電子ジャーナルなど様々な形で流通する文献を広く集め、各文献の書誌情報をデータベース化するという作業が行われます。このとき、書誌情報を既定の形式に揃えることで、検索も管理もしやすい状態に整理されます。また、文献の内容に基づいてジャンルごとにデータを分類したり、検索機能を充実させるなど、二次資料データベースそれぞれで工夫がされています。

本文を読む方法は「外部サイトへのリンク」または「複写」

二次資料データベースのため、医中誌Web上には本文そのものは掲載されていません。しかし、様々な電子ジャーナルサイトと連携しているため、検索結果画面からスムーズに各サイトへアクセスでき、本文を閲覧・購入できます。また、外部サイトへのリンクが無い文献については、国立国会図書館や民間企業などの複写サービスを利用することで、文献本文の複写物を入手することができます。(下図)